

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
- 令和4年4月26日同時配布

令和4年4月26日
国土技術政策総合研究所

「DX データセンターにおける3次元データ利用環境の 官民連携整備に関する共同研究」を開始します

国土技術政策総合研究所では、BIM/CIM等の3次元データの活用による建設産業の生産性向上を目指して、DXデータセンターの構築を進めています。

この取り組みの一環として、DXデータセンターでの実証実験を通して、公共工事で受発注者が3次元データの保管や閲覧、作成、編集、受渡し等を効率的かつ持続的に行うことができるビジネスモデルを官民連携で整備するために、令和4年1月31日から2月28日までの間、共同研究の参加機関を公募しました。審査の結果、民間企業7社が共同研究に参加することとなりました。

令和5年度のBIM/CIM原則適用を控え、令和4年度中にDXデータセンターへの3次元データ編集用ソフトウェアの搭載等を行うことを目標として、3次元データ利用環境の官民連携整備に向けた共同研究を進めます。

【研究項目】

- ・DXデータセンターのVDIに対応したソフトウェア利用環境の構築
- ・実証実験の実施体制の構築
- ・実証実験
- ・評価

【研究期間】

令和4年4月から令和7年3月まで

【参加機関】

- ・オートデスク株式会社
- ・川田テクノシステム株式会社
- ・株式会社フォーラムエイト
- ・福井コンピュータ株式会社
- ・ESRI ジャパン株式会社
- ・アイサンテクノロジー株式会社
- ・株式会社三英技研

※本共同研究では、開始後も参加の応募を受け付けます。参加を希望される場合、以下までお問い合わせください。

(問い合わせ先)

国土交通省国土技術政策総合研究所

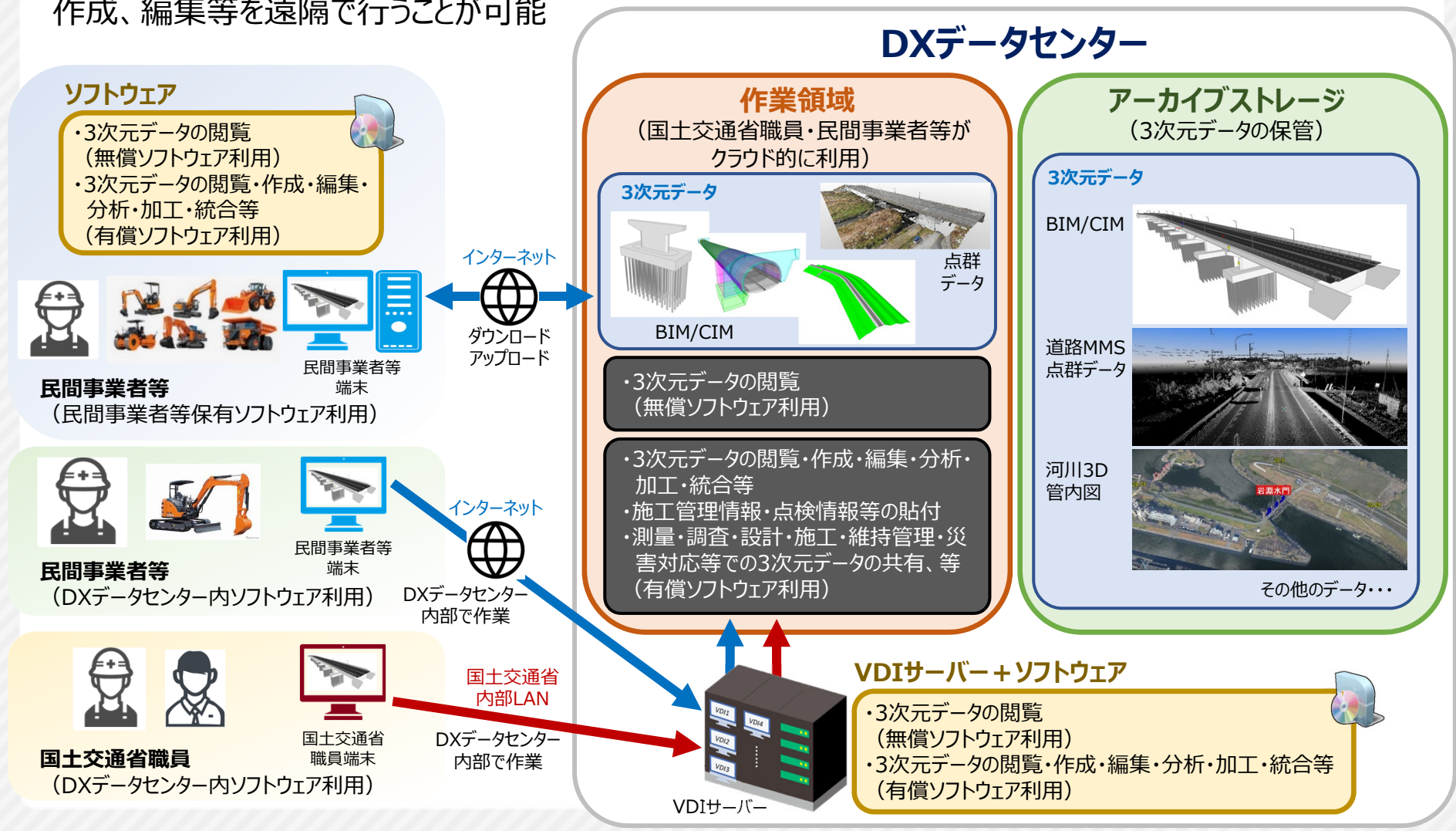
社会資本マネジメント研究センター 社会資本情報基盤研究室 主任研究官 中村

TEL : 029-864-4916 FAX : 029-864-2214

DXデータセンター

○BIM/CIM等の3次元データを一元的に保管し、受発注者が測量・調査・設計・施工・維持管理の事業プロセスや災害対応等で円滑に共有するためのシステムとして「DXデータセンター」を構築

○3次元データを取り扱うソフトウェアを搭載することにより、受発注者がBIM/CIM等の3次元データの閲覧、作成、編集等を遠隔で行うことが可能



共同研究参加機関



参加機関のソフトウェアと代表的な活用例

参加機関 ソフトウェア	オートデスク AUTODESK AEC COLLECTION 川田テクノシステム V-nasClair フォーラムエイト UC-1 BIM/CIMツール 福井コンピュータ TREND-CORE	ESRIジャパン ArcGIS	アイサンテクノロジー WingEarth	三英技研 STRAXcube
代表的な 活用例	<ul style="list-style-type: none"> ✓ BIM/CIMの作成・加工・編集・活用等 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 3D管内図の加工・編集 ✓ 3次元データを含む様々なデータを同一地図上に可視化 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 道路MMS点群データなど様々な点群データの加工・編集 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 道路設計時の地形モデル、土工モデル、統合モデルの作成 ✓ デジタル地図上での道路線形のシミュレーション 

※本資料では代用的な活用例を掲載しています。他の活用例につきましては、各参加機関のホームページや各ソフトウェアのパンフレット等をご参照ください。
 ※参加機関及びソフトウェアにつきましては、今後、追加・変更される可能性があります。